

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権文化のつどい事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	420239	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	110	頁
施策体系	施策コード	010202		施策名 人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名 第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報			
事業目的 (あるべき姿)	参加者の人権啓発の推進と参加者間の交流を図る。		
対象者	参加を希望する高齢者	対象者数	124
		単位あたりコスト	14.7
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等	一般財団法人京都府部落解放推進協会		
事業概要 (簡条書き)	一般財団法人京都府部落解放推進協会が主催する京都府人権文化のつどい事業への負担金支援等		
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	使用料及び賃借料	266	送迎用バス借上料
	負担金補助及び交付金	223	参加負担金

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	554	501	495	495					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	554	501	495	495						
予算財源内訳	① 一般財源	554	421	425	425					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	80	70	70					
決算情報	① 流充用額	△ 55	0	0	0					
	② 配当予算	499	501	0	0					
	③ 執行額	474	489	0	0					
	④ 執行率	94.9%	97.7%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09/0	0.11 / 0.18	0.11 / 0.18	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	720	1,330	1,330	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,194	1,819	1,330							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権文化のつどい参加者負担金		種類	雑入	実績金額	62	決算付属資料	46	頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	参加者数	人	162 / 160	148 / 160	124 / 160	/ 140	140
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	周知機関数	団体	7 / 7	7 / 7	7 / 7	/ 7	7
		単位あたりコスト	76.71	67.71	69.90		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権尊重、あらゆる差別撤廃に向けて、高齢者が集い、文化活動の発展、地域交流の輪を広げていく上で支援は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	令和元年度から参加負担金を徴収し、コスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人権啓発、推進のために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	参加者への人権啓発と交流を図ることができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度から一部自己負担金を徴収し事業を実施しているが、参加人数が減少していることもあり、募集方法の検討等により参加者の増加を図っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度から1人500円の参加負担金を徴収して事業を行っている。今後も、京都府や参加市町の実施状況及び動向等を確認しながら、関係団体との協議も含めて方向性を整理、検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	人権施策推進計画事業									
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子		
会計情報	事業コード	730202	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 118 頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する						
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画				
根拠法令等	人権教育・啓発推進法、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、人権教育・啓発活動推進事業補助金交付要綱、福知山市企業人権教育・啓発活動推進事業運営補助金交付要綱、部落解放人権を考える女性の集い補助金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	第3次福知山市人権施策推進計画の理念を広く浸透させ、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人など、あらゆる人権問題についての理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを進めることによる「人権文化の創造と「共に幸せを生きる」共生社会の実現」をめざす。豊かな人権感覚を身につけた人材の育成、市民協働による人権啓発事業の推進を図る。									
対象者	市民・職員	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.2					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	(株)日本旅行TIS福知山支店、東武トップツアーズ(株)									

事業概要 (箇条書き)	「人権施策推進計画」の理念を広く市民に啓発、浸透させるために各種事業を実施する。 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する施策の推進 ・人権ファミリーーター養成セミナーや職員人権人材バンク等の事業により豊かな人権感覚を身につけた人材の育成を図る。 ・部落差別、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人など、あらゆる人権問題について理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを進める。								
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	報酬	152	人権問題協議会委員		
旅費	393	研修会等への参加旅費			
需用費	1,173	広報ふくちやま人権特集号、人権啓発誌ザツツライト印刷ほか			
負担金補助及び交付金	1,380	人権を考える女性の集い補助金、人権教育啓発推進事業補助金ほか			
その他経費	618	報償費148,000円、役員費5,372円、委託料183,006円、使用料及び賃借料24,100円、備品購入費257,576円			

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	4,720	3,950	3,574	3,943
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	4,720	3,950	3,574	3,943	
予算財源内訳	① 一般財源	3,577	3,105	2,760	3,133
	② 国支出金	355	360	389	387
	③ 府支出金	788	485	425	423
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 142	111	0	0
	② 配当予算	4,578	4,061	0	0
	③ 執行額	3,807	3,716	0	0
	④ 執行率	83.2%	91.5%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.39/0	1.44 / 0.65	1.44 / 0.65	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	19,120	13,145	13,145	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	22,927	16,861	13,145		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権啓発活動委託金	種類	民生費国庫委託金	実績金額	422	決算付属資料	22	頁
	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	494	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ファミリーーター養成講座受講者	人	45 / 30	31 / 30	16 / 30	/ 30	30
ユニバーサルデザイン認知度	%	46 / 100	91 / 100	50 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	ファミリーーター養成講座実施回数	回	3 / 4	3 / 4	1 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		614.33	1269.00	3715.91		
	ユニバーサルデザイン講演会	回	2 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
単位あたりコスト		921.50	3807.00	3715.91			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権教育・人権啓発の推進に関する法律、差別解消3法に基づき、市民が人権尊重の意識を高める機会を提供していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	内容や経費の見直しを行いながら効果的な啓発となるよう進めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	ファシリテーター養成講座や人権を考える女性の集いへの支援、広報や啓発誌の作成など様々な手法により、幅広く人権問題や人権問題の解消に向けた取組について啓発を行なった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・人権ファシリテーター養成セミナーやユニバーサルデザイン推進事業など様々な事業展開によって、人権施策推進計画の理念を浸透させるとともに、人材育成や市民協働の取組によりあらゆる人権問題について訴え、人権尊重が尊重された社会の実現に向けた啓発を行なった。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる人権課題に対応した事業内容としていくため、関係課との連携調整が必要。 ・人権教育・啓発は継続しなければ市民意識の後退につながるおそれもあるため、継続して取組んでいく。 ・令和元年度に実施した市民意識調査の結果を結果をふまえた事業展開を図っていく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>人権施策推進計画の理念を市民に広く浸透させるため、あらゆる人権問題についての教育・啓発を継続的に行っていく必要がある。令和元年度に実施した市民意識調査の結果や新型コロナウイルス感染症に係る人権侵害など身近にある人権問題も含め差別解消に向けた事業を展開するとともに、人材の育成を図る。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	人にいちばん近いまちづくり推進事業									
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子		
会計情報	事業コード	730204	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 118 頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する						
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画				
根拠法令等	人権教育・啓発推進法、人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会交付金交付要綱									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	国や京都府及び府内各自治体の実行委員会と連携して、人権侵害被害者救済システムの構築をめざす「人にいちばん近いまちづくり実行委員会(25団体と自治会組織、個人で構成)」の活動を支援する。また、「人にいちばん近いまちづくり推進会議(10の市民団体で構成)」を中心に、人権を守りあうことは、社会生活の基本であり、みんながいきいきと暮らせる社会を築くため、「市民が主体となった人権尊重のまちづくりを進め、『幸せの舞台…福知山』の創造をめざす。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	人にいちばん近いまちづくり実行委員会、舞台照明CREW・SO・LOOK								
事業概要 (簡条書き)	人にいちばん近いまちづくり実行委員会の主催する活動(国や府の実行委員会の開催される講座への参加、市民向け講座の開催など)への支援を行う。 人にいちばん近いまちづくり実行委員会の広報啓発部会を中心に、8月の人権強調月間、12月の人権週間にあわせて街頭啓発、講演会などの人権啓発事業を実施する。								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	293	人権を考える市民のつどい講師謝礼、要約筆記・手話通訳・保育サポーター謝礼						
	需用費	256	人権を考える市民のつどいチラシ・ポスター、街頭啓発物品等						
	役務費	195	人権を考える市民のつどい講師派遣手数料等						
	委託料、使用料及び賃借料	84	人権を考える市民のつどいモニタールーム設営委託料22,680、看板借上げ61,040						
	負担金補助及び交付金	700	人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会補助金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,167	1,665	1,617	1,582				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,167	1,665	1,617	1,582					
予算財源内訳	① 一般財源	1,586	983	1,160	1,144				
	② 国支出金	0	410	0	0				
	③ 府支出金	581	272	457	438				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 268	△ 79	0	0				
	② 配当予算	1,899	1,586	0	0				
	③ 執行額	1,847	1,527	0	0				
	④ 執行率	97.3%	96.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.54/0	0.41 / 0.00	0.41 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,320	3,280	3,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,167	4,807	3,280						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	240	決算付属資料	24	頁
	特財名称	人権啓発活動委託金	種類	民生費国庫委託金	実績金額	223	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講演会参加者数	人	700 / 700	600 / 700	581 / 700	/ 700			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講演会の開催回数	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2			
	単位あたりコスト		483.50	923.50	763.54				
	広報啓発部会の開催	回	3 / 3	3 / 3	2 / 3	/ 3			
単位あたりコスト		322.33	615.67	763.54					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権侵害被害者救済システムの構築は重要な課題であり、国や京都府及び市内各自治体と連携した活動は必要である。また、市民に対する人権教育・啓発は行政の責務であり、人にいちばん近いまちづくり実行委員会の広報啓発部会を中心に人権教育・啓発を行うことで、行政と市民が協働で事業を展開できた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	業務執行にあたっては、国及び京都府の補助金を活用し、コストの削減にも努めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	毎年8月と12月に人権講演会を開催しているが、市民の間にもこの時期に講演会が開催されるということが根付いており、多くの市民に啓発できる機会となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>実行委員会の活動として、関係団体との連携した取り組みによって差別の解消を目的とした法整備が進むなど、人権救済システムの構築について一定の成果をあげている。</p> <p>広報啓発部会の活動として、8月の人権協強調月間、12月の人権週間中に街頭啓発や講演会等を開催し、目標の参加者数には届かなかったが多くの市民の人権意識の高揚に繋げることができた。</p> <p>令和元年度については、8月は世界の平和をテーマとして講演会を、12月については性の多様性をテーマとした講演会を開催した。</p> <p>アンケートでは、20歳未満から70歳以上まで幅広い年齢層の方に来場いただき、8月は8割以上の方から、12月は7割以上の方から講演内容について「わかりやすかった」との回答をいただいた。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次福知山市行政改革実施計画の中に掲げられている、人にいちばん近いまちづくり実行委員会と人にいちばん近いまちづくり推進会議の2団体の統合について、令和元年度に推進会議を実行委員会の広報啓発部会とすることで達成した。 ・講演会に来られない方への働きかけとして、より効果の高い周知方法を検討し、より幅広く効果の高い啓発事業となるよう工夫していく必要がある。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度に「人にいちばん近いまちづくり推進会議」を「人にいちばん近いまちづくり実行委員会」の啓発部会に位置付け、両団体を統一し、街頭啓発や講演会を一体的に実施し、さらなる市民の人権意識の高揚を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	人権擁護委員活動事業									
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子		
会計情報	事業コード	730209	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 118 頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する						
計画期間	開始年度	昭和54年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画				
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員法									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	福知山市、綾部市の人権擁護委員で組織されている福知山人権擁護委員協議会の活動について、福知山市、綾部市の2市で支援を行う。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	福知山人権擁護委員協議会								
事業概要 (箇条書き)	・福知山人権擁護委員協議会(福知山市19名、綾部市8名)の活動支援 人権問題に関する相談、啓発活動 ・人権の花運動推進事業 法務省の人権啓発活動地方委託事業として、市内の幼稚園・保育園・小学校4(園・校)において、京都府の人権の花である水仙の植え付けと人権教室を開催し啓発を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	220	消耗品費(水仙球根・園芸用土・立て札・教材ノート他)190,683、印刷製本費(人権の花運動用シール)29,700						
	役務費	1	運搬料(人権の花運動用立て札)1,000						
	負担金補助及び交付金	517	福知山人権擁護委員協議会負担金517,000						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	760	728	695	674				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	760	728	695	674					
予算財源内訳	① 一般財源	522	523	517	516				
	② 国支出金	238	205	178	158				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	10	0	0				
	② 配当予算	760	738	0	0				
	③ 執行額	754	738	0	0				
	④ 執行率	99.2%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27/0	0.22 /	0.22 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,160	1,760	1,760	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,914	2,498	1,760						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権啓発活動委託金	種類	民生費国庫委託金	実績金額	221	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	人権の花運動参加者	人	310 / 200	200 / 200	270 / 200	/ 200	200		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	人権相談実施回数	回	52 / 52	52 / 52	47 / 52	/ 52	52		
	単位あたりコスト		14.00	14.50	15.71				
	人権の花運動実施箇所数	箇所	4 / 4	4 / 4	4 / 4	/ 4	4		
単位あたりコスト		182.00	188.50	184.60					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権擁護委員制度が円滑に運用されるための支援は継続していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要最小限の経費で実施できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	市民に向けた人権啓発や人権問題に関わる相談先として、活動されている人権擁護委員の支援に資することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動については、令和元年度は昭和小学校、遷喬小学校、上川口小学校、福知山幼稚園の4校・園で実施し、人権擁護委員とともに、京都市の人権の花である水仙の植え付けと人権教室を実施した。子ども達が命の大切さや、相手への思いやりについて学ぶ機会をつくれた。 ・人権相談については定例相談日を設定し、人権擁護委員が主体となり相談対応を行っている。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスや気象警報などにより中止や縮小を余儀なくされる事業もあったが、所期の目的は達成できたと考えている。 ・人権擁護委員制度に基づいて活動支援を継続していく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	法務大臣より委嘱を受けた人権擁護委員で組織されている福知山人権擁護委員協議会の活動を支援するための経費である。 「人権の花」運動を始めとする啓発事業や人権相談など、その活動は市民の人権意識の向上及び人権擁護に寄与しており、継続した支援が必要である。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	差別を許さない人材育成事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730223	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	120	頁
施策体系	施策コード	010202 施策名 人権教育・人権啓発を推進する											
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画						
根拠法令等	人権教育・啓発推進法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	平和・人権の輪つながり広がり事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	STAR(差別を許さない子ども育成協議会)を組織し、子どもたちの主体的な活動や交流による仲間づくりを行うなかで人権問題について理解を深め、あらゆる差別を許さず見逃さない、心豊かな人権感覚を持った人権リーダーとなる子どもの育成をめざす。								
対象者	福知山市内在住の小・中学生	対象者数	6,178	単位あたりコスト	0.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社京都映画センター								
事業概要 (簡条書き)	・人権ワークショップ ・障害のある子どもの社会参加支援事業(神戸ルミナリエハートフルデーへの参加) ・国際交流事業 ・人権文化体験研修 ・ヒューマンフェスタ								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	78	チラシ・ポスター印刷、色上質紙ほか						
	委託料	210	映画上映委託ほか						
	使用料及び賃借料	98	バス借上げ料、高速料金ほか						
	備品購入費	114	人権啓発DVD						
	報償費、旅費、役務費	57	報償費7,500円、旅費3,300円、役務費46,200円						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	800	800	731	709				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	800	800	731	709					
予算財源内訳	① 一般財源	448	442	420	408				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	352	358	311	301				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 35	△ 18	0	0				
	② 配当予算	765	782	0	0				
	③ 執行額	623	556	0	0				
	④ 執行率	81.5%	71.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.56/0	0.48 / 0.00	0.48 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,480	3,840	3,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,103	4,396	3,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	252	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	子ども会員登録者数	人	33 / 55	34 / 55	29 / 55	/ 55	55		
	子ども会員参加者数(延べ)	人	35 / 80	22 / 80	49 / 80	/ 80	80		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	年間活動事業数	事業	8/8	6/8	8 / 8	/ 8	8		
	単位あたりコスト		87.75	103.80	69.53				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚を持った子どもの育成のためには、今後も必要な事業である。 ・民間事業者で実施することは難しい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の輪つながり広がり事業との共催や児童館等関係機関との連携により、多くの参加者を募り、また低コストで効率よく実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・差別を許さない心豊かな子どもがどのくらい育成されたかを数値化することは難しく、参加者数としているが、関係機関等と連携することで継続した参加や子ども同士のつながりもできており有効な取組となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施回数が前年に比べ多かったこともあり、参加者数は増加したが目標値を達成することはできなかった。 ・活動を続けていることで子どもたちの主体的な活動につながっており、また学校や地域、学年を超えた交流をするなかでさまざまな人権問題について理解を深める機会となる事業が実施できた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>小学生で会員登録し、活動していた子どもたちが中学生になると参加できず退会していく傾向があるが、人権問題について理解と認識を深め、差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚をはぐくんでいくためには、継続した地道な活動が必要である。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>本市が実施する差別を許さない人材育成事業と連携した取組を行っている「差別を許さない子ども育成協議会」事業を今後も継続する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子					
会計情報	事業コード	730231	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	120	頁
施策体系	施策コード	010202 施策名 人権教育・人権啓発を推進する											
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画						
根拠法令等	人権教育・啓発推進法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	「共に幸せを生きる」共生社会の実現に向けて、予断や偏見による差別や人権侵害を解決するために、人権講演会や研修会、ワークショップを行い、人権問題を正しく理解するとともに、一人ひとりがかけがえのない存在であることを認識し、人権が尊重され、誰もが幸せに生きることができるまちづくりを進める。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (簡条書き)	1 地域公民館、保育園・幼稚園・小学校・中学校と共催の人権講座 2 企業人権教育講座								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	887	講師謝礼						
	需用費	80	色上質紙ほか						
	役務費	152	講師派遣手数料						
	使用料及び賃借料	1	施設使用料						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,511	1,372	1,257	1,219						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0	0						
小計(①~③)	1,511	1,372	1,257	1,219							
予算財源内訳	① 一般財源	814	735	629	610						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	697	637	628	609						
	④ 地方債	0	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	△ 5	0	0	0						
	② 配当予算	1,506	1,372	0	0						
	③ 執行額	1,060	1,120	0	0						
	④ 執行率	70.4%	81.6%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.31 / 0.35	0.27 / 0.35	0.27 / 0.35	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	3,355	3,035	3,035	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,415	4,155	3,035								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	558	決算付属資料	24	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	講座への参加者数	人	4,848 / 5,500	5,554 / 5,500	5,682 / 5,500	/ 5,500	5,500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	講座の実施回数	回	42/50	40/50	44 / 50	/ 50	50
	単位あたりコスト		31.90	26.50	25.45		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公民館や企業等が主体となって実施する人権学習を支援する事業であり、必要性は高い。 ・研修機会の少ない若い保護者世帯も対象にしており、人権について考える重要な機会となっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校やPTAと連携することで、経費負担の軽減や市だけでは招聘が難しい講師を派遣できるなど効率的に実施ができています。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加することで人権問題について正しく理解し、意識を高めるとともに、差別に直面したときの行動にもつながっている。参加者数だけでは人権意識を測れないところもあるが、一定の成果となり有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	気象警報やインフルエンザ・新型コロナウイルスなどにより実施を取りやめざるを得ないところもあったが、地域公民館・保育園・幼稚園・小学校・中学校・PTAとの共催や企業人権教育講座として実施することで参加しやすく、またあらゆる世代を対象とした講座を実施することができ参加者の増加につながった。		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域公民館や学校・園などに講座の開催を働きかけ、より多くの市民に人権問題を身近な問題として考えてもらう学習の機会を増やす。 ・関係機関との連携を図り、あらゆる人権問題について理解を深めてもらえるようテーマを設定して実施する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域公民館・保育園・幼稚園・小中学校・PTA・企業と連携し、あらゆる年代の人が人権問題について正しく理解できる人権学習の機会を提供するため事業を継続して行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	人権ふれあいセンター等改修事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730116	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132	頁
施策体系	施策コード	010202		施策名	人権教育・人権啓発を推進する								
計画期間	開始年度	昭和42年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画					
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	利用者の安心安全な利用を図るため、施設の改修を行う。								
対象者	市民		対象者数	77,743		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	南佳屋野会館下水道排水管修繕 金屋ふれあいセンターエアコン更新工事 堀会館玄関・下六人部会館和室・夕陽が丘教育集会所階段手すり設置工事 *平成30年度から「教育集会所改修事業」と統合								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	需用費	154		修繕料					
	工事請負費	2,013		金屋ふれあいセンターエアコン更新1,507,000、堀会館ほか手すり設置506,000					

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,300	3,010	3,300	24,777						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0	0						
小計(①~③)	5,300	3,010	3,300	24,777							
予算財源内訳	① 一般財源	1,700	410	3,300	18,777						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0	0						
	④ 地方債	3,600	2,600	0	6,000						
	⑤ その他特財	0	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	△ 147	0	0	0						
	② 配当予算	5,153	3,010	0	0						
	③ 執行額	4,701	2,167	0	0						
	④ 執行率	91.2%	72.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.11/0	0.31 / 0.00	0.31 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	880	2,480	2,480	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,581	4,647	2,480								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権ふれあいセンター等改修事業(地域活性化)		種類	民生債		実績金額	400	決算付属資料	50	頁
	特財名称	教育集会所改修事業(過疎対策)		種類	民生債		実績金額	1,500	決算付属資料	50	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	会館利用者数	人	31,217/25,000	29,687/25,000	28,968 / 25,000	/ 25,000	25,000			
	教育集会所利用者数	人	37,391/35,000	38,085/35,000	37,225 / 35,000	/ 35,000	35,000			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	改修工事施工数	館	2/2	2/2	4 / 4	/ 1	0			
	単位あたりコスト		3758.00	2350.50	541.86	/				
	単位あたりコスト		/	/	/	/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福祉と人権の拠点施設として有効に活用されており、人権ふれあいセンター・教育集会所機能の向上を図る必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	施設の老朽化も進んでいるため、安全・安心面を確保するためにも一定の経費は必要となる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	人権問題についての理解と認識を深める場としてだけでなく、地域交流及び高齢者の生きがい対策事業等にも有効に活用されている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	大規模改修は困難だが、可能な範囲での改修を実施することにより利便性の向上や利用者の安心安全につながった。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の老朽化も進んでいるため、安全・安心面を確保するためにも一定の改修は不可欠であるが、コストの削減にも配慮しながら公共施設マネジメントをふまえた計画的な改修を行っていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公共施設マネジメント計画を踏まえながら、利用者が安心・安全に施設を利用できるように、施設の機能を維持するための計画的な改修を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	人権ふれあいセンター運営事業(地域福祉・地域交流・人材育成)									
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子		
会計情報	事業コード	730210	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計 決算付属資料 132 頁
施策体系	施策コード	010202 施策名 人権教育・人権啓発を推進する								
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和2年度		関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画			
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	人権ふれあいセンター等地域福祉事業、出会いふれあい推進事業(人権ふれあいセンター)、人を大切にしたい人材育成事業(人権ふれあいセンター)									

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	人権ふれあいセンター等の周辺地域住民の高齢者及び障がいのある人を対象に、介護予防・地域交流を推進するためデイサービス事業を実施する。 人権施策推進計画の基本理念である人権文化を定着させるために出会いふれあいの場を設け、地域の交流と活性化を図り、自主的な地域力を育成する。 ひとを大切に、あらゆる人権問題について、差別を許さず、なくしていく意欲と実践力を持った人材の育成を図る。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	NPO法人ヒューマンクロスふくちやま、京都ユニオンサービス株式会社、舞台照明CREW・SOLOOK								
事業概要(簡条書き)	・デイサービス事業 ・各種相談事業 ・人権強調月間や人権週間にあわせた文化祭の開催 ・各種サークル活動 ・人権講演会の開催 ・リーダー育成事業 ・小学生施設体験学習								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	643	消耗品費609,448、燃料費33,173						
	委託料	1,644	給食サービス業務1,579,066、運転代行業務34,465、音響・照明業務30,000						
	使用料及び賃借料	321	自動車借上料210,960、駐車料・高速道路等通行料66,250、その他機器等借上料(調理器具他)43,720						
	負担金補助及び交付金	13	研修会等参加負担金						
	報償費・旅費・役務費・備品購入費	1,258	報償費(講師謝礼)986,600・旅費191,160・役務費(クリーニング代他)7,023・備品購入費(スクリーン)73,440						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,895	4,921	4,487	4,434				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,895	4,921	4,487	4,434					
予算財源内訳	① 一般財源	665	1,421	1,245	1,229				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	1,045	2,699	2,441	2,404				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	185	801	801	801				
決算情報	① 流充用額	△ 514	△ 140	0	0				
	② 配当予算	1,381	4,781	0	0				
	③ 執行額	1,135	3,878	0	0				
	④ 執行率	82.2%	81.1%						
人概工算	① 従事職員数(正職員/嘱託職員)	0.95/2.55	2.62 / 6.62	2.62 / 6.62	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	13,975	37,510	37,510	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	15,110	41,388	37,510						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営等事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	1,606	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域交流活性化支援事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	420	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域福祉事業デイサービス利用者負担金	種類	雑入	実績金額	455	決算付属資料	48	頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	人権ふれあいセンター利用者数	人	31,217/25,000	29,687/25,000	28,968 / 25,000	/ 25,000	25,000		
	デイサービス利用者数	人	1,509/1,400	1,230/1,400	1,008 / 1,350	/ 1,350	1,350		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	主催事業参加者数	人	5,145/6,000	4,070/6,000	7,863 / 8,000	/ 8,000	8,000		
	単位あたりコスト		0.32	0.33	0.49				
	デイサービス開催回数	回	48/48	48/48	44 / 48	/ 44	48		
単位あたりコスト		260.80	227.00	88.14					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	地域に根ざした事業であり、住民の文化向上、自主的な地域力を育成するための事業実施が必要である。 デイサービスにより介護予防・地域交流が促進されている。 市民協働の観点からも、差別を許さない人材育成が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	文化祭等について実施主体のふれあいセンターと地元自治会組織により毎回実施内容について検討・効率化が協議されている。 参加負担金の徴収や、講演会の開催経費の見直しによりコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地元の大学生や中学・高校生のボランティアの協力も得ながら、目的に合致した活動が行われている。 高齢者や障がいのある人の地域交流・介護予防の場となっている。 継続した事業実施により、地域に自主的な学習組織が立ち上げられるなど、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスや気象警報などにより中止や縮小を余儀なくされる事業もあったが、地域に根ざした事業として住民にも認知され、交流が図れるなど事業の目的は達成されている。 ・高齢化が進む中、周辺地域を含めて高齢者相互の交流の場を確保できるとともに、各種健康プログラムにより健康と生きがいを図る介護予防に寄与している。 ・講演会や研修事業などの開催により、豊かな感性とひとを大切にすることを育み、差別をなくしていこうとする仲間づくりと実践力を高める人材育成につなげることができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>人権ふれあいセンター運営事業(地域福祉・地域交流・人材育成)は、令和元年度から人権ふれあいセンター等地域福祉事業、出会いふれあい推進事業、ひとを大切にしたい人材育成事業の3事業を統合して実施している事業である。 各種事業は国で定められている「隣保館設置運営要綱」に基づき行っており、福祉と人権の拠点施設として事業を展開しているが、その基本として同和問題の解決をめざす人材や組織の育成が大切であるとされている。 各種講演会や研修事業は生きることの喜びを体得する場であり、単に教養的な内容ではなく、地域コミュニティの活性化につながる事業としても実施しているが、今後も、あらゆる差別を許さず見逃さない、人権感覚を持った人材の育成を図るための継続した取り組みが必要であると考えている。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>人権教育・啓発、文化活動、住民交流等を推進し、あらゆる人権問題の解決をめざすため事業を実施するとともに、各会館の特徴や地元の意向を十分考慮したうえで、周辺の施設との複合化や集約化などを含めた人権施設のあり方を今後も検討する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	教育集会所管理事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730235	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	132・134	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	福知山市教育集会所条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	教育集会所学習活動事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	啓発・教育活動を通して人権学習の推進を行い、差別を許さない人材の育成と地域の交流の拠点となる教育集会所の管理運営を行う。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス(株)、(株)西日本SSC、(福)ききょうの杜、(福)大江作業所、(株)かんと一す、NPO法人おひさまと風の子サロン ほか								
事業概要 (箇条書き)									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	3,120	臨時職員3名分						
	需用費	6,907	光熱水費、施設修繕料、消耗品費ほか						
	役員費	1,109	電話代、手数料ほか						
	委託料	10,856	指定管理、施設管理、機械警備、廃棄物搬入ほか						
	報酬、使用料及び賃借料、備品購入費	287	報酬38,000円、使用料及び賃借料136,624円、備品購入費112,247円						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	23,752	23,718	23,744	24,305				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	23,752	23,718	23,744	24,305					
予算財源内訳	① 一般財源	17,904	17,828	17,734	18,289				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	5,812	5,850	5,977	5,983				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	36	40	33	33				
決算情報	① 流充用額	36	0	0	0				
	② 配当予算	23,788	23,718	0	0				
	③ 執行額	22,225	22,278	0	0				
	④ 執行率	93.4%	93.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・兼任職員)	0.69/0.7	1.53 / 0.30	1.53 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,270	12,990	12,990	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,495	35,268	12,990						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営等事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	6,113	決算付属資料	24	頁
	特財名称	電柱占用料	種類	民生使用料	実績金額	32	決算付属資料	10	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	教育集会所の利用者数	人	37,391 / 35,000	38,085 / 35,000	37,225 / 35,000	/ 35,000	35,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	主催事業参加者数	人	6524	6925	6,386 / 6,800	/ 6,800	6,800		
	単位あたりコスト		3.67	3.22	3.49				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	人権教育・啓発、相談事業など、差別を許さない人材育成を人権推進施設が中心となり進める必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	節電等の取り組みにより維持管理経費の削減をしている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	集会所ごとに事業を実施することで、地域課題に応じた人権啓発活動に繋がるとともに、集会所が地域の居場所・交流の場となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域に根ざした施設として、住民の交流活動や人権啓発活動の拠点として活用してもらっていることは一定の成果と考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の設置目的を推進するための事業を実施する必要があるが、施設も老朽化しているため、公共施設マネジメント実施計画を踏まえながら、各教育集会所の特徴や地元の意向を十分考慮したうえで、周辺の施設との複合化や集約化などを含めた人権施設のあり方を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中事業評価			

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	人権教育・啓発活動を通して人権学習を推進し、差別を許さない人材の育成と地域の交流の拠点となる教育集会所の管理運営を行うとともに、各教育集会所の特徴や地元の意向を十分考慮したうえで、周辺の施設との複合化や集約化などを含めた人権施設のあり方を今後も検討する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	教育集会所学習活動事業												
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室				所属長	高橋 千寿子						
会計情報	事業コード	730236	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	134	頁
施策体系	施策コード	010202	施策名	人権教育・人権啓発を推進する									
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第3次福知山市人権施策推進計画							
根拠法令等	福知山市教育集会所条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	教育集会所管理事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	人権教育・啓発、文化活動、住民交流等を推進し、あらゆる人権問題の解決をめざす。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(株)								

事業概要 (簡易書き)	各地域の課題に対応した人権教育啓発活動、文化活動及び住民交流活動の推進。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	1,133	講師謝礼										
	旅費	2	社会見学に係る旅費										
	需用費	151	消耗品費、燃料費ほか										
	委託料	19	バス運転代行										
使用料及び賃借料	205	バス借上げ料ほか											

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,184	2,052	1,877	1,820				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,184	2,052	1,877	1,820					
予算財源内訳	① 一般財源	1,040	984	841	827				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	1,144	1,068	1,036	993				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	2,184	2,052	0	0				
	③ 執行額	1,763	1,510	0	0				
	④ 執行率	80.7%	73.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/兼任職員)	0.52/0.3	0.51 / 0.30	0.51 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,910	4,830	4,830	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,673	6,340	4,830						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	隣保館運営等事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	215	決算付属資料	24	頁
	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	15	決算付属資料	24	頁
	特財名称	地域交流活性化支援事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	525	決算付属資料	24	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	学習活動の参加者	人	6800 / 7000	6925 / 7000	6386 / 7,000	/ 7,000	7,000		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	啓発、交流事業実施回数	回	900	591	561 / 700	/ 700	700		
	単位あたりコスト		2.37	3.00	2.69				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・人権教育・啓発、相談事業など、差別を許さない人材育成を人権推進施設が中心となり進める必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・同一地域内の他の施設と連携しながら、参加者の確保・いろいろな人権課題をテーマとした講座等の実施が行える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・地域の実態を把握しながら、地域課題に対応した事業を進めることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の設置目的を推進するための事業を地域の実情に応じて講座を実施し、一定の参加者があることは評価できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	施設の設置目的を推進するための事業を実施する必要があるが、施設も老朽化しているため、公共施設マネジメント実施計画を踏まえながら、各教育集会所の特徴や地元の意向を十分考慮したうえで、周辺の施設との複合化や集約化などを含めた人権施設のあり方を検討する。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	人権教育・啓発、文化活動、住民交流等を推進し、あらゆる人権問題の解決をめざすため事業を実施するとともに、各教育集会所の特徴や地元の意向を十分考慮したうえで、周辺の施設との複合化や集約化などを含めた人権施設のあり方を今後も検討する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------